

資料4



# 中小企業倒産防止共済制度の 現状

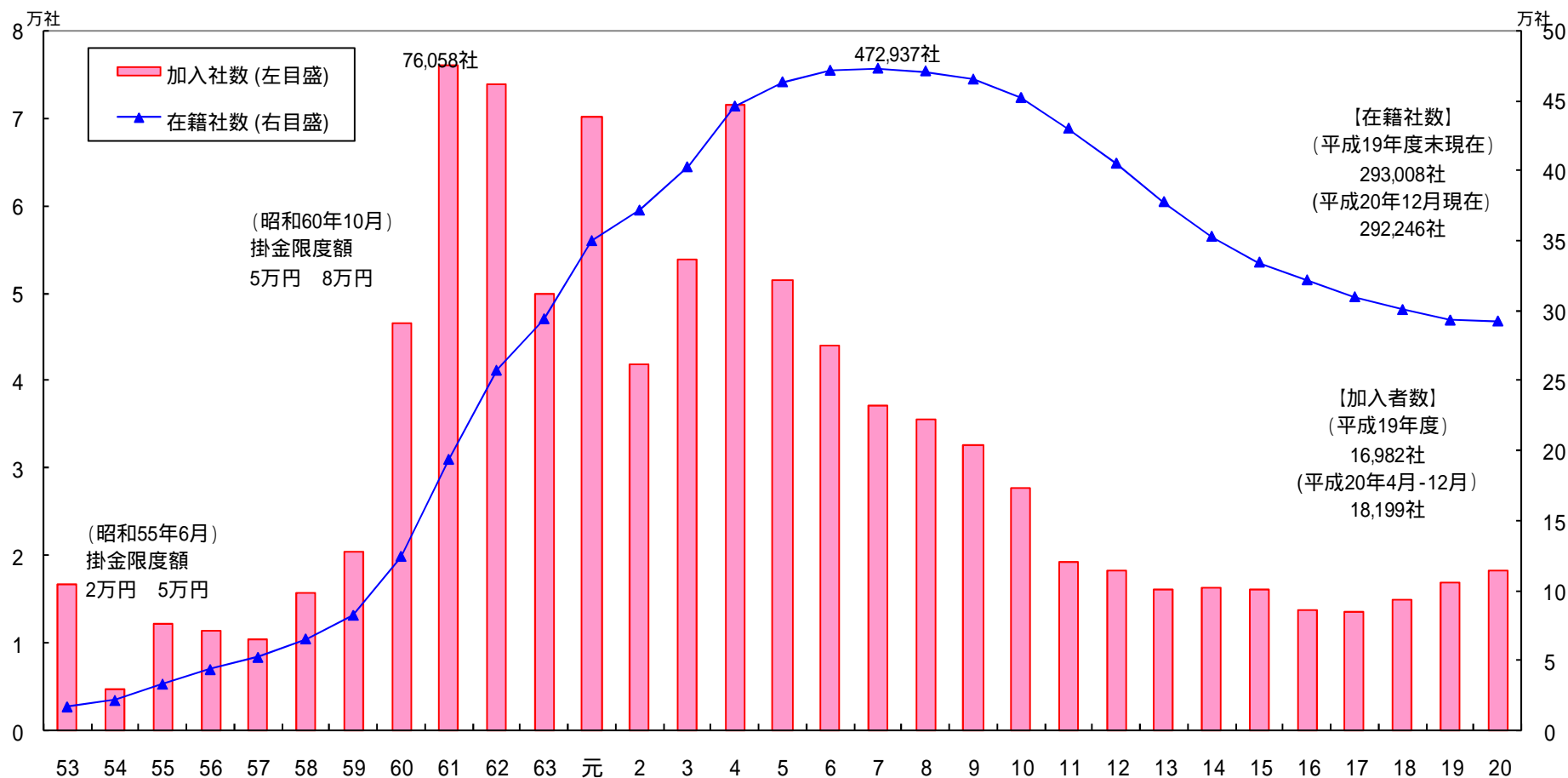
---

平成21年2月  
中小企業庁



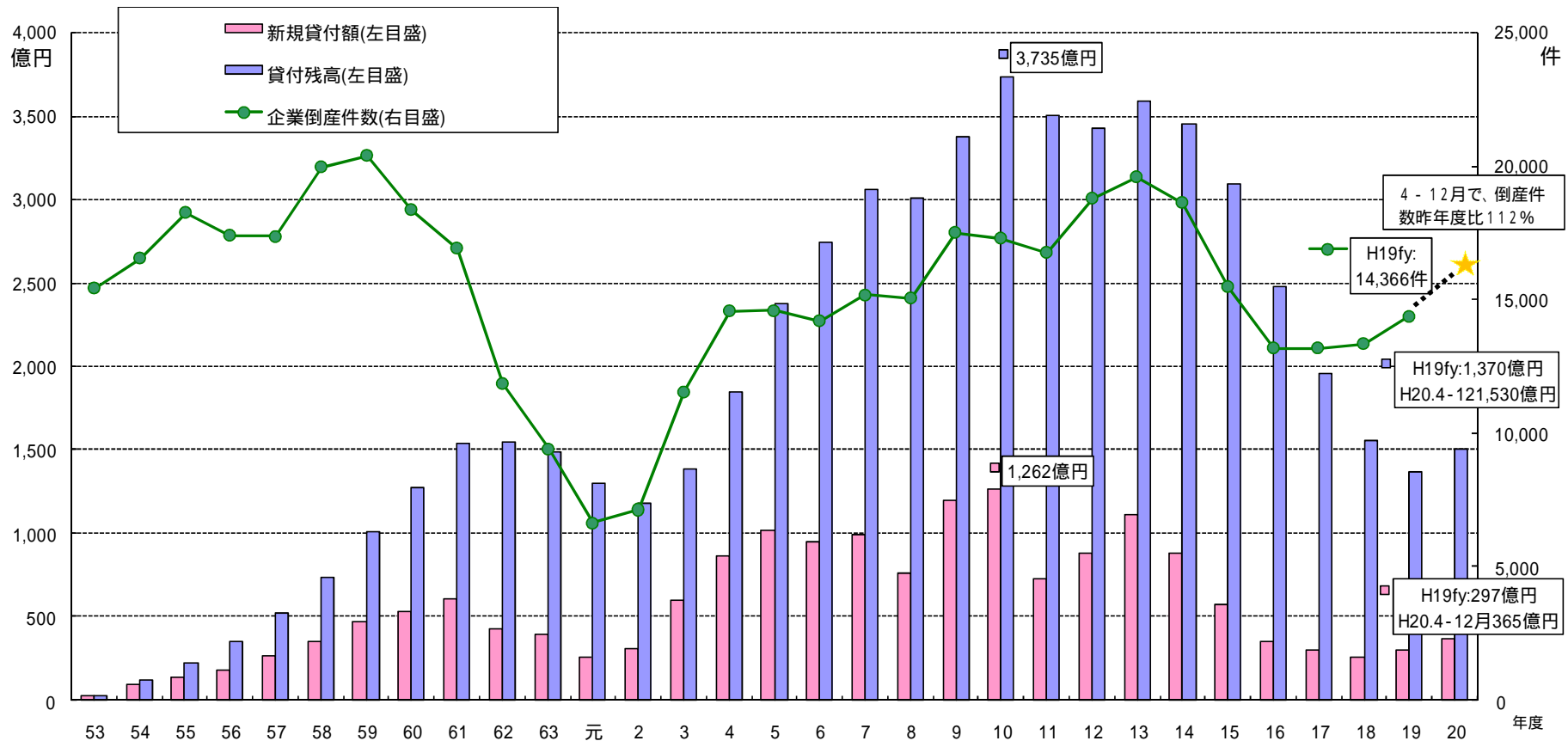
## 2. 中小企業倒産防止共済 加入・在籍状況 (制度発足から年度別)

加入状況は、昭和61年度の76,058件をピークに減少傾向にあったが、最近増加基調  
 (平成19年度は16,982件)。  
 在籍状況は、平成7年度の472,937件をピークに減少(平成19年度は293,008件)。



### 3. 中小企業倒産防止共済制度 新規貸付等

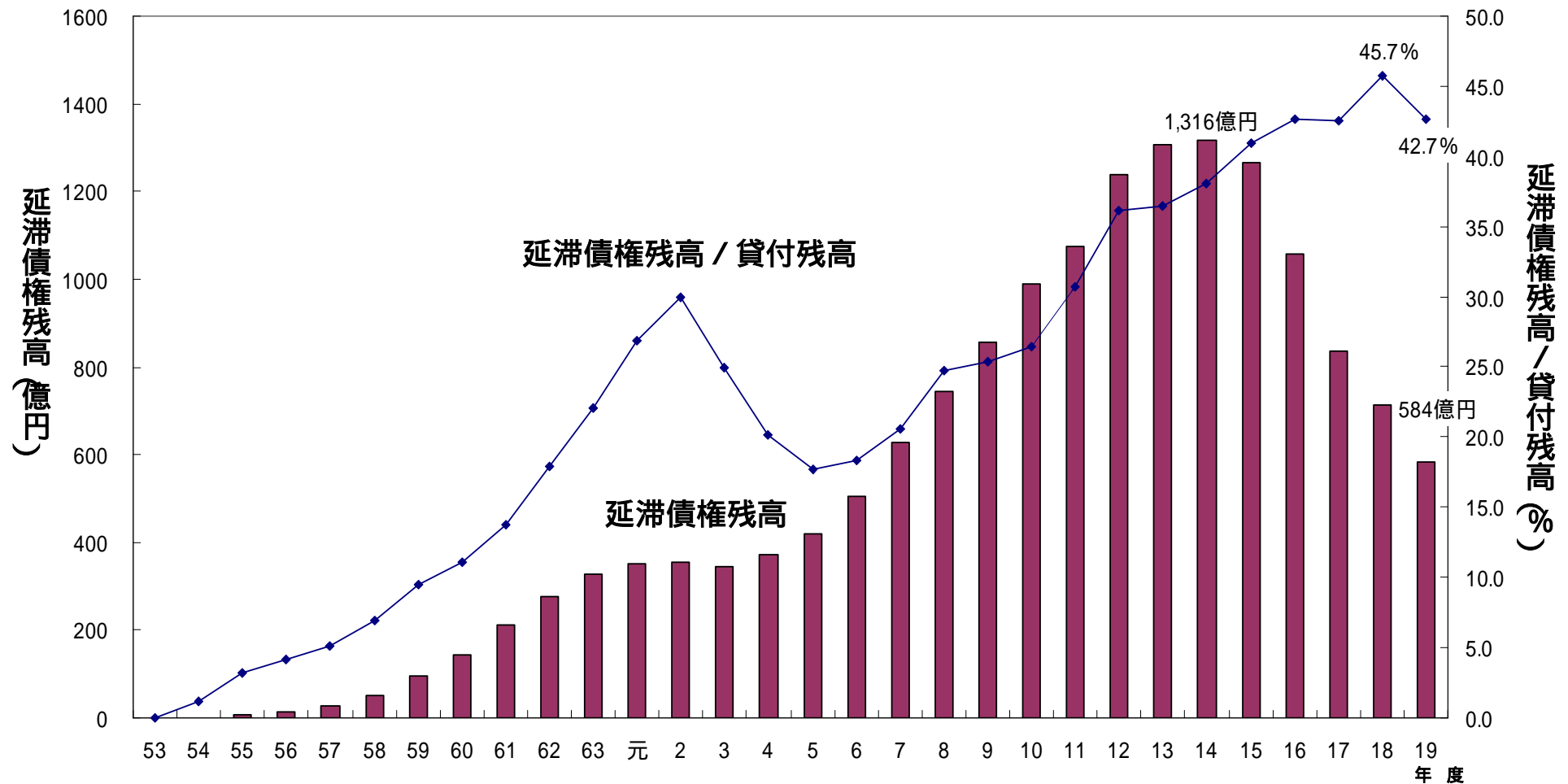
企業倒産件数と新規貸付額の推移はほぼ同様の動きを示しており、平成13年度以降、減少傾向にあったが平成17年度から上昇傾向で推移。



## 4. 延滞金債権等の状況

延滞債権残高は、平成15年度以降減少。

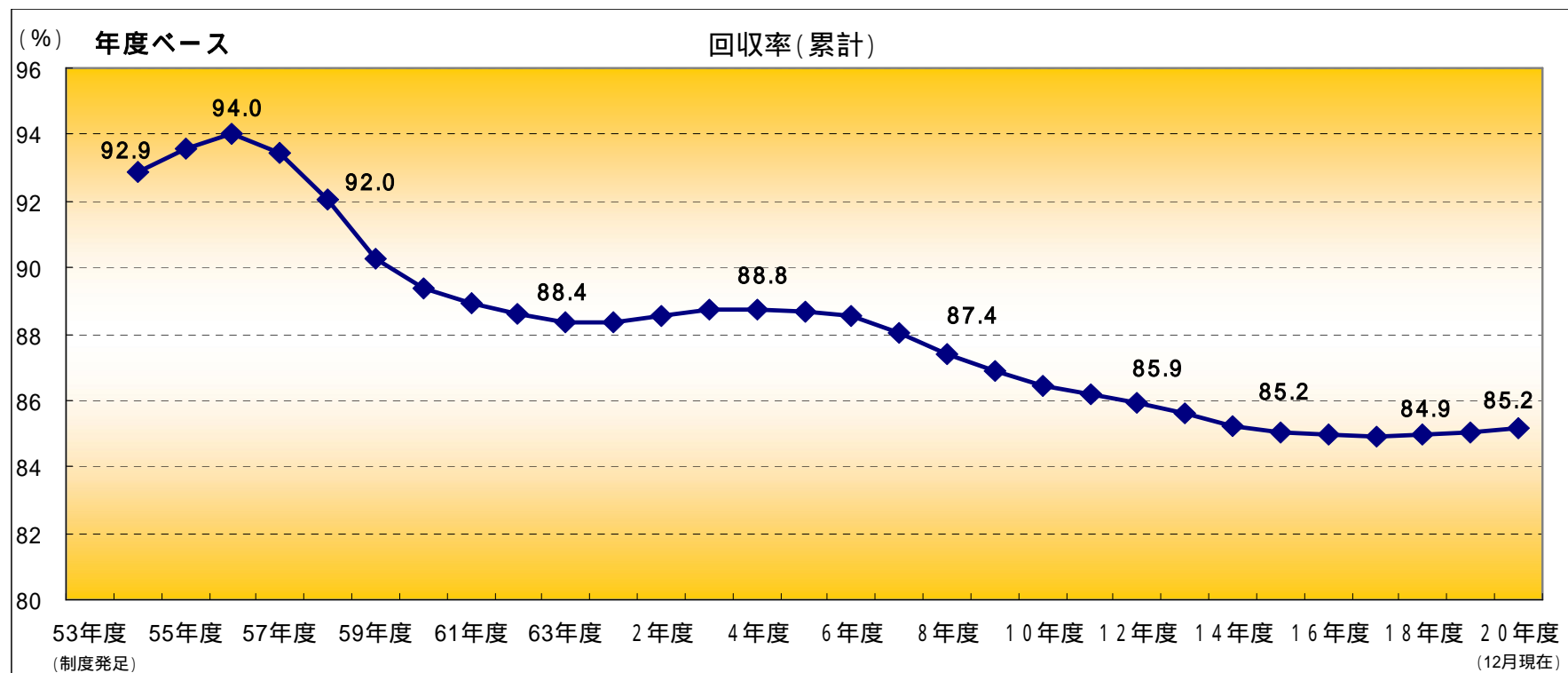
貸付残高に占める延滞債権残高の割合は、平成6年度以降上昇し、15年度以降は40%を上回る。



(注) 延滞債権残高は、平成11年度までは当初約定から6ヶ月以上延滞した債権(再契約から6ヶ月以上延滞した債権を含む)の各期末残高。平成12年度以降は、リスク管理債権(貸倒懸念債権及び破産更正債権)の各期末残高。

## 5. 中小企業倒産防止共済 貸付回収率推移

貸付回収率の推移は、創設以来の累計では、85.2%にとどまっている。



平成20年度は4月から12月の実績値。